

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 9 巻第 14 号

第 14 週 (3月30日 ~ 4月5日)

発行年月日:平成21年(2009年) 4月 9日

発行 行:滋賀県衛生科学センター内
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

お知らせ:4月1日に大津市が中核市に移行したことに伴い、大津市保健所が開設されました。
滋賀県感染症情報(SIDR)の情報には、大津市保健所管内の情報を含んでいます。

今週の感染症発生動向

今年になって最初の腸管出血性大腸菌感染症の発生(2例発生)

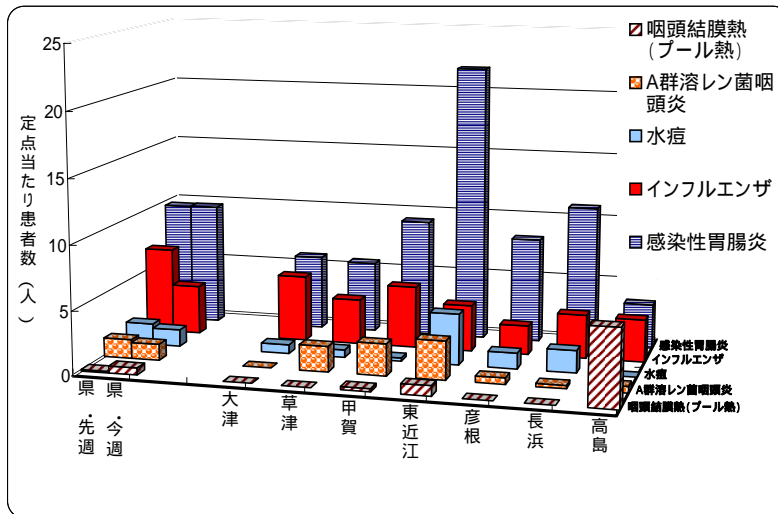
定点把握の対象となる五類感染症の発生状況は、先週の報告数よりさらに少なくなっています。特にインフルエンザでは、先週に引き続きほぼ半減しています。

今週増加した疾患は咽頭結膜熱(プール熱)、感染性胃腸炎、ヘルパンギーナおよび流行性角結膜炎で、他の疾患については減少または横ばいとなっています(詳細については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

「感染症発生動向調査に基づく感染症の警報・注意報システム」による保健所管内別の警報および注意報の発生状況については、咽頭結膜熱、A群溶レン菌咽頭炎、感染性胃腸炎で警報発生基準値を、水痘で注意報発生基準値を超えている保健所管内があります(詳細については、今週の発生状況:滋賀県における保健所管内別警報・注意報発生状況参照)。

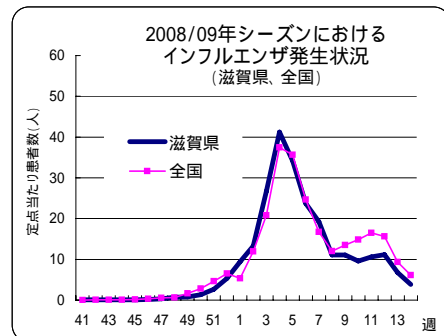
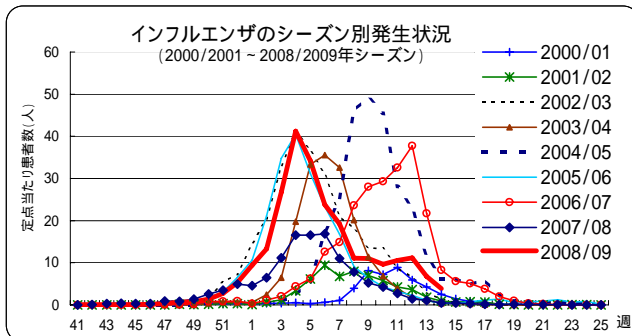
全数把握対象疾患では、二類感染症の結核で7名、三類感染症の腸管出血性大腸菌感染症で2名の届出がありました。

上位5疾患の発生状況(定点把握対象五類感染症、第14週、定点当たり患者数)



県全体における上位疾患の発生状況についてはグラフに示すとおり、感染性胃腸炎、インフルエンザ、水痘、A群溶レン菌咽頭炎、咽頭結膜熱(プール熱)の順に多くなっています。インフルエンザは高島以外で先週より急減しています。感染性胃腸炎は東近江で、咽頭結膜熱(プール熱)は高島で非常に多くなっています。

インフルエンザの発生状況



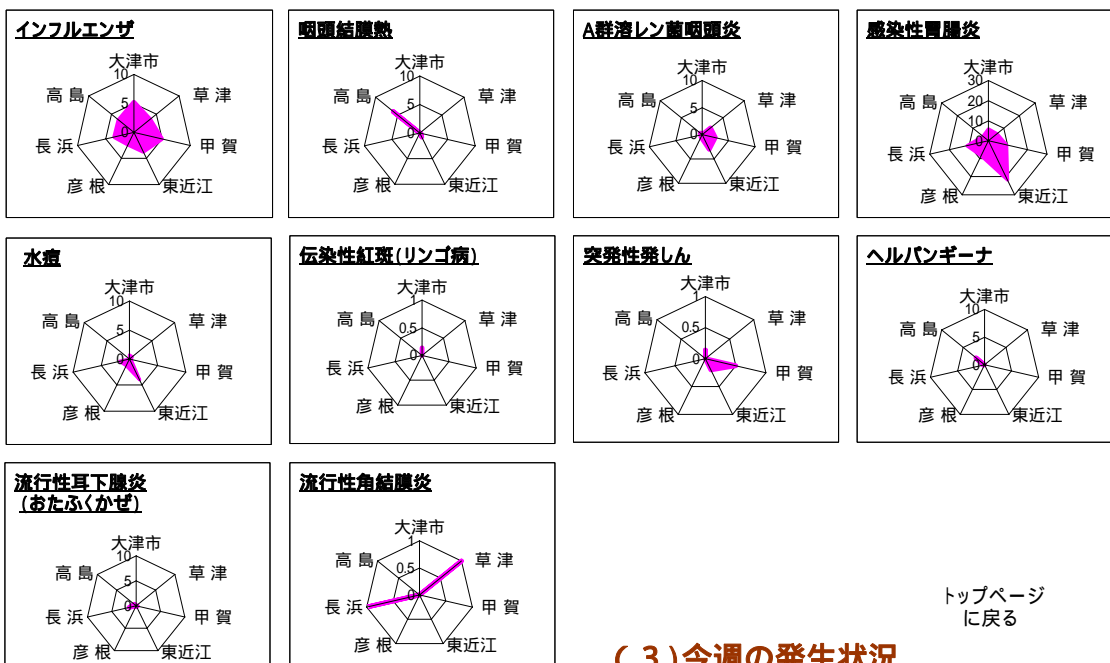
全国および滋賀県におけるインフルエンザの発生状況はグラフに示すとおり、全国、滋賀県ともに2週連続して大幅に減少しています。都道府県別では新潟県、石川県、秋田県、福井県、山形県の順に多くなっており、定点当たり患者数はそれぞれ15.37、15.25、14.58、14.03、13.19となっています。

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第14週、3/30～4/5)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況 (県全体)
	県	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	3.88	5.18	3.56	4.86	3.63	2.29	3.43	3.33	
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	
咽頭結膜熱(プール熱)	0.55	0	0	0.25	0.80	0	0	6.00	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.26	0	2.00	2.50	3.00	0.50	0.25	0.50	
感染性胃腸炎	9.65	5.86	5.60	9.25	21.80	8.25	11.00	3.50	
水痘	1.32	0.71	0.60	0.25	4.00	1.25	1.75	0	
手足口病	0	0	0	0	0	0	0	0	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.03	0.14	0	0	0	0	0	0	
突発性発しん	0.13	0.14	0	0.50	0.20	0	0	0	
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0.16	0	0	0	0	0	0.25	2.00	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.29	0	0	0.25	0.20	0	1.50	0.50	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.25	0	1.00	0	0	0	1.00	0	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	

■ は定点当たり患者数が先週より増加
 ■ は警報発生中
 ■ は注意報発生中
 0 2 4 6 8 10
 定点当たり患者数(人)

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



トップページ
に戻る

(3)今週の発生状況

- インフルエンザ-----高島で先週より増加していますが、他の保健所管内では先週より大幅に減少しています。県全体の定点当たり患者数は2週連続して減少しています。
- 咽頭結膜熱-----高島で先週より急増し、定点当たり患者数は6.00で警報開始基準値(2.00)を超えています。
- 感染性胃腸炎-----県全体では先週より微増となっていますが、東近江では先週よりさらに増加し、先週に引き続き警報終息基準値(12.00)を越えています。
- 水痘-----東近江では先週のほぼ倍増となり、定点当たり患者数は注意報開始基準値(4.00)となっています。

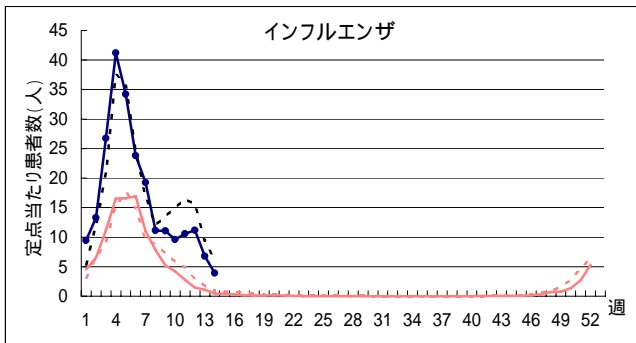
滋賀県における保健所管内別警報・注意報発生状況(平成21年第14週)

疾患名	県	保健所管内別							警報開始基準値	警報終息基準値	注意報発生基準値
		大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島			
咽頭結膜熱(プール熱)	0.55	0	0	0.25	0.80	0	0	6.00	2.00	0.10	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.26	0	2.00	2.50	3.00	0.50	0.25	0.50	4.00	2.00	-
感染性胃腸炎	9.65	5.86	5.60	9.25	21.80	8.25	11.00	3.50	20.00	12.00	-
水痘	1.32	0.71	0.60	0.25	4.00	1.25	1.75	0	7.00	4.00	4.00

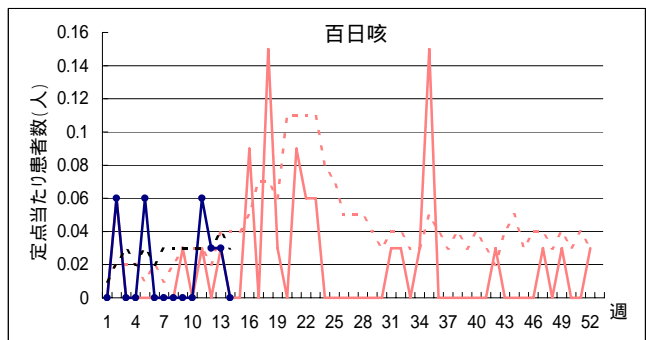
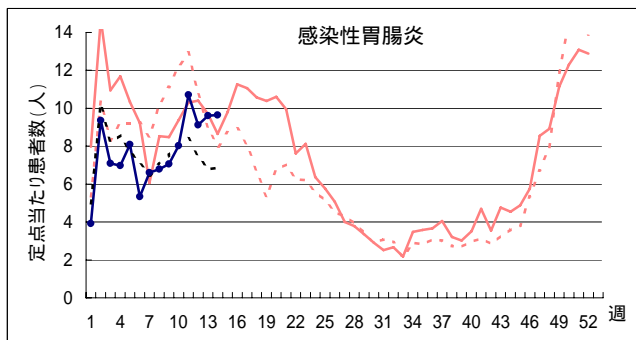
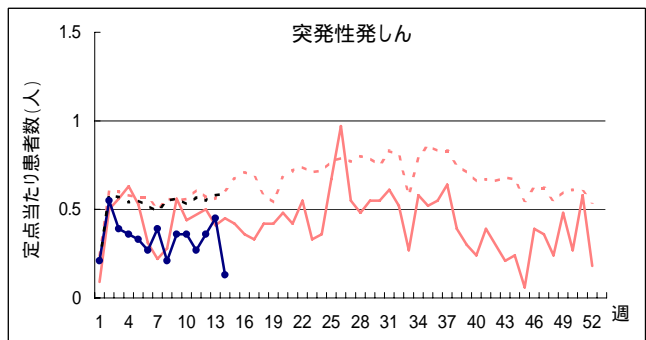
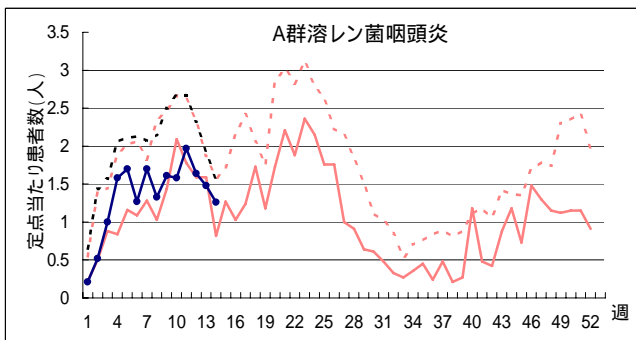
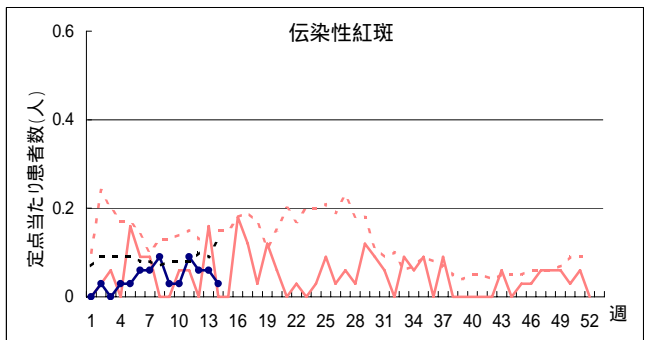
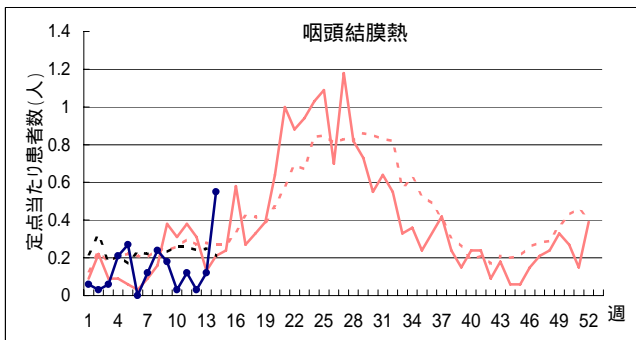
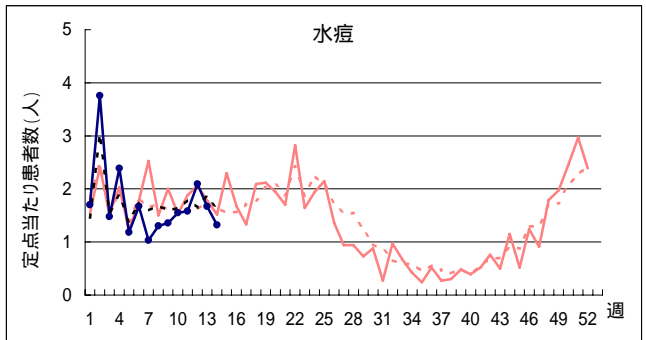
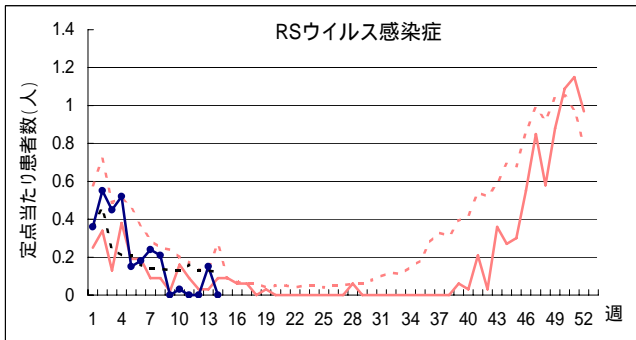
★ : 警報開始基準値または警報終息基準値を超えています。
★ : 注意報発生基準値を超えています。

* 基準値はすべて定点当たり患者数(人)です。また、注意報の数字が入っていないものは、注意報の対象外という意味です。

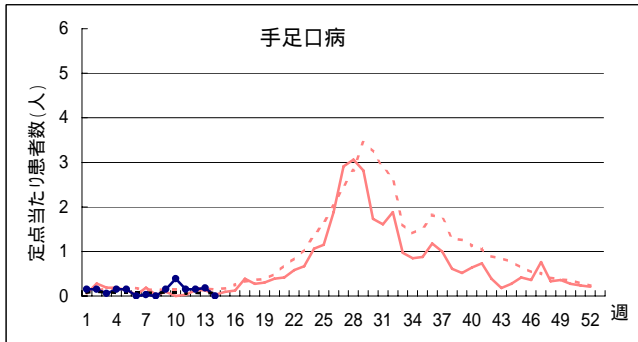
疾病別定点当たり患者数(平成21年第14週、H19.12.29～H21.4.5)



H20 { 滋賀 (solid red line)
 全国 (dotted red line)
 H21 { 滋賀 (solid blue line with dots)
 全国 (dotted black line)



疾病別定点当たり患者数(平成21年第14週、H19.12.29~H21.4.5)



H20
 { 滋賀 ————
 全国 - - - - -
 H21
 { 滋賀 ●●●●●
 全国 ······

